



MBニュース



【2017年度産秋期草菇状況】

丸松物産株式会社

草菇は春期と秋期の2回生産されます。今年の秋期生産も例年通り、8月上旬から開始され、9月下旬まで行われました。総生産数量の85%を秋期に収穫し、主産地の福建省が60%を占めております。収穫量は現状昨年並みを維持しており、原料価格も昨年と同等な価格との事ですが、資材費が昨年より**13%値上**がりしており、また、中国政府の指導もあり、石炭燃料から天然ガスに変えている為、**燃料コストが40%**上昇しています。資材費や燃料コストの上昇以外に人民元高の影響も受け、製品価格は値上りが懸念されます。

弊社取扱い商品



草菇ホール4号缶 草菇ハーフカット2号缶
M・Lサイズ M・Lサイズ

【2017年度産なめこ生産前状況】

原料産地の遼寧省では、なめこの菌の植え付けを6月初旬から行います。当初の天候は気温が高く、干ばつ状態が続いた為、菌が20%程死滅したとの事ですが、全体の収穫量に影響を及ぼすほどではないとの事です。生産は9月下旬から10月初旬に始まりますが、9月以降はなめこの生育に適した高温多湿気候になり、順調に生育しているとの事です。しかしながら、草菇の産地報告でも触れたましたが、遼寧省においても**資材費が30%、燃料コストが20%**上昇しているとの事で、なめこも製品価格の値上げが懸念されます。

弊社取扱い商品



なめこSサイズ つぼみ 直径12~16mm
なめこMサイズ つぼみ 直径16~21mm
なめこPサイズ ひらき 直径0.6~16mm

【中国段ボール不足に悲鳴】

「今月から製品を値上げします。」中国の段ボール原紙メーカー最大手、玖龍紙業は9月11日、8月以降だけで4度となる段ボール原紙の値上げを発表した。

中国ではアリババ集団のサービスなどネット通販が急速に普及した。2016年に宅配された小筒みは313億個と4年前の6倍、1年で5割増えた。日本の8倍に達する水準だ。

一方、中国政府は大気汚染など深刻な環境問題への対策として、製紙会社への規制を強化。排ガス基準などを満たさない中小の工場を生産停止に追い込んだ。今回の価格急騰は、段ボール需要が増える一方で、供給が滞ったことが一因だ。ただ、これは春先ごろの話で、当時の原紙価格の上げ幅は4割程度に留まっていた。

追い打ちをかけたのが、政府の古紙輸入規制だ。中国では毎年1700万ドルほどの古紙を海外から輸入し、段ボールなどの原料としている。規制の詳細は不明だが、すでに一部の税関では輸入できない状況になっているという。原料がなければ段ボールは作れない。価格は7月以降、再び急上昇すると同時に「段ボールが入手できなくなると」との危機感が広がっている。

日本経済新聞2017年9月14日朝刊より一部抜粋

【新商品情報】

国産の春雨・しめじを使用

すき焼き風春雨



1kg×10入り
賞味期限:製造日より 4ヶ月
原材料
はるさめ、しめじ、しょうゆ
粒上大豆たん白、砂糖
発酵調味料、
ビーフエキス調味料
「国産の春雨としめじを使用
すき焼きの甘味が染み込んだ
優しい味わいの春雨です」

提案メニュー

